

# 明政クラブ

世界遺産登録後の浦上地区、  
黒崎地区（枯松神社）の取り組み

**問** 構成資産ではないが、世界遺産価値を理解する上で重要な地区である浦上地区や黒崎地区について、今後の取り組みを伺いたい。



▲おらしよを捧げ、信仰を守ってきた枯松神社

**答** 県や市において、浦上天主堂や黒崎地区の枯松神社、外海潜伏キリシタン文化資料館などを「長崎と天草地方のキリスト教関連歴史文化遺産群」に登録し、世界遺産と一体のものとして活用していくこととしており、ウェブサイトでその価値の重要性を発信している。

また、誘導板や説明板の設置、ガイドマップ等による紹介のほか、ことし2月に開催した世界遺産登録記念講演会では、黒崎地区にかくれキリシタンの文化的伝統として伝承されてきた道具の説明や、祈りの言葉であるおらしよの奉納を行うなど、周知と理解促進に努めている。

今後、さまざまな機会を捉えて、浦上、黒崎地区の価値や役割も世界遺産価値と一体的に情報発信を行っていく。

## 合併地区のごみ収集連搬業務の契約方法

**問** 競争入札に移行する方針としているが、現在の委託業者は、地元雇用や地域貢献に尽力してきた経緯があることから、契約方法の変更は、合併地区の活力の衰退につながるのではないか。

**答** 随意契約により委託している合併地区の事業者においては、長年にわたって廃棄物の適正処理の確保等に努められてきたことは理解している。しかしながら、随意契約を長期間継続することは、事業者選定の公平性や透明性、他の事業者の参加機会の確保などの観点から課題があり、また、旧市内において、一般競争入札により事業者を選定し、問題なく業務が行われていること、包括外部監査の意見においても、競争入札への移行の検討が望ま

れていること、合併協定の中で、入札移行の方向性を示してから10年を超える期間が経過していることなどから、一般競争入札への移行が必要と判断している。

現在の事業者や地域への影響等も十分に考慮し、地域の特性に応じた入札のあり方について検討しながら、理解が得られるよう協議を行っていきたい。



# 公明党

## 高齢者いきいきカードの活用

**問** 高齢者いきいきカードを外出時にも利用できるようサイズや交付窓口等を改善し、周知を図ることで、介護予防や緊急時の対応等に活用できないか。

**答** 高齢者いきいきカードは、高齢者の健康増進と教養向上を目的に、60歳以上の市民に交付しており、市内の文化・観光施設や老人福祉センター等を無料で利用することが可能となっている。カードには、住所、氏名、生年月日のほか、緊急時の連絡先やかかりつけ医などの情報を記入する項目があるため、外出時に携帯することで、緊急時の速やかな救護活動に役立てることが期待できる。

現在のカードについては、財布などにおさまらばらうサイズであることや紙質も耐久性に乏しいとの意見があるため、小型化して携行性を高めるように改良し、市民への普及を図っていく。また、交付窓口についても、地域センターのほか、新たに20カ所の地域包括支援センターでも交付することとしている。

**高齢者いきいきカード**  
(老人福祉カード)

長崎市福祉部  
高齢者すこやか支援課  
(095) 829-1146